



「町の歴史を語る人と川高生」

文：川根高校魅力化コーディネーター
(地域おこし協力隊)

伊神花織

川根高校を中心に、学校での取り組みを魅力化コーディネーターの立場から、地域の方などへのインタビューを交えてご紹介します。



言葉で知ると、語る人の熱量も伝わる

町について「知る」ことを1年間の探究活動で行っている川根高校の1年生。歴史や文化を知るために、川根本町町史研究会と話楽座の方から講話をしていただきました。その時の様子をご紹介します。

自分たちの町の魅力を、もっと知ってほしいと取組むお二人の、熱量が溢れる時間になりました。

「子供たちが、川根の歴史や文化を知りたいと思うていたことが、何よりすごくうれしかった」と語る、川根本町町史研究会の山本亘一さん。「川根」や『大井川』という名前の語源など、町の歴史を教えてくださいました。地名用水の昔話をしてくださった話楽座の中原すま子さんは「話を聞いて、実際に見に行つてほしい。昔の人の思いに触れることにつながってくれば」と、活動の発展に期待を寄せてくれました。

両団体ともに、町に残る伝承や言い伝えが途絶えないよう、地道に話を聞いたり、資料を調べたりして、今に伝えてくれています。そんな思いも、次につながれば良いなと思いました。

残したい、伝えたい 思いが溢れる



高校生に話すのは緊張したと語る
山本さんと中原さん

この町の好きを 自分たちで見つける



徳山地区の方による紹介動画を見ながらフィールドワーク

徳山地区の方や役場から、町のことを少しずつ教えてもらった川根高校の1年生。知ることをさらに深め、『川根の価値ある場所』を自分たちで見つけ出す取り組みをしていきます。川根地域の地元生と、それ以外の県内・県外の川根留學生に分かれ、それぞれの視点で考え、共通点や相違点を発見していく予定です。

川根高校ならではの地域性と生徒のバックグラウンドを活かし、町全体を教室として、地域を探究していきます。



伊神花織 (いがみ かおり)

愛知県出身。広告代理店の営業を経て、教育コーディネーターとして大阪・東京で小中学校のキャリア教育に従事。高校教育に関わりたいと思い、魅力化コーディネーターを志望して本町へ。本町にはバイクツーリングで訪れており、景色の美しさや町の方々の優しさに触れる機会が多くあり、以前から好きな場所でした！



川根高校のフェイスブックページ

伊神さんが更新川高生の様子から授業での豆知識まで発信

